

南アルプスの前衛峰 池口岳 (2392M)

2009.9/12～13

9/12 (土) 曇り後雨 12:40～松本市の娘宅に寄ってから松本 IC～15:00 松川 IC～16:30 池口岳登山口避難小屋 走行 166KM (泊)

9/13 (日) 晴れ 登山口 5:30～6:20 面切～7:25 黒薙三角点 7:45～利権沢の頭 8:15～9:40 最初のロープ場～9:50 2番目のロープ～10:00 光岳方面分岐点～10:15 池口岳 11:20～12:40 水場下降点 (テント場手前)～13:45 黒薙三角点 14:05～14:55 面切～15:35 登山口 15:50～19:35 帰宅。走行 331KM。

延期していた池口岳登山を急遽決行する事にした。9/11 は新潟県へイワナ釣り予定が同行者の急用で中止、12～13 日はお祭りだが、来客なしになる。群馬県の Y さんが 13～14 日と 4 名で燕岳登山のお誘いもあったが、13 日快晴の天気予報で長丁場の健脚向きコースなので日の長い時と考えて。中央道は土砂降りで 50KM 制限 120KM 位で走行する車もあり、事故が心配だったが駒ヶ根付近で急に渋滞になり、もしや通行止め？と気をもんだが、単独事故で片側通行できたが、部品などが散乱していて、パンクしないか心配だった。登山のために松川 IC は何回も乗り降りしている。南アルプスは奥が深く登山口まで時間がかかる。雨降りでテントはダメ。車中泊か避難小屋泊かは小屋の状態見で布団枕持参。避難小屋は 2 間 X3 間のプレハブで、ネットでの検索では「湿っぽい」の記事があった。内部見たら綺麗になっているので小屋泊に決める。幸い雨は降っていないし、小屋のすぐ傍に車を置ける。寝袋も持参したが、布団を持ち込み寝る事にする。携帯も通話できる。誰か同宿者欲しいが、一人では寂しい。同行者を探そうと思っても、知名度が低くて、展望も良くない、しかも 10 時間以上の健脚コースなので相棒はみつからない。この山に登るのは 200 名山派か信州 100 名山派がほとんどと思う。持参したビールと K さんから東北土産に頂いた「白神山地の四季」を飲む。17:30 頃から雷交じりの強い雨降りになる。期待した同宿者もなし。入り口の鍵を閉めて早めに寝る。

池口岳避難小屋で前泊しました



数少ない案内板です



明るくなって登山口へ行きトイレを借りていたら単独が 2 台到着する。私がトップで入山するが、道を間違えて引き返す。シッカリ踏まれた想定外の登山道である。明るい針葉樹と落葉樹林の膝に優しい腐葉土の多い登山道で快適に珍しく足早に歩く。途中「東洋のチロル」と言われる「下栗部落」も見下ろす。遠山郷は「信州のチベット」とも言われる。

稜線を多少のアップダウンのある歩き易い登山道が 4/3 で山頂手前の 4/1 が細くて急な歩きずらい登山道である。黒薙三角点で 20 分休んだだけで予想外の短時間で山頂に一番乗りする。

池口岳山頂標です



コース全体がそうだが山頂も樹林帯で展望は良くない。南峰行きは疲れるのでヤメ。予定より 2 時間も早着したので展望悪いけど大休止する。帰路はユックリ展望の効くところで眺めたり、写真撮ったりする。聖岳が兎に角立派である。花はほとんど無い。残り 4/1 位から膝がおかしくなる。痛みがあまりないので助かるが。往復 17.5KM の長丁場。佐武流山と同じで膝で一度は諦めた山である。達成感に感激し下山した。お気に入りの松川 IC 近くの「清流苑」でユックリ入浴し帰路に着く。それにしても信州は南北に広い。お茶畑も沢山あるから。「清水栄一氏の信州 100 名山」97 座目達成する。「信州山岳クラブの信州 100 名山」は残り白沢天狗山のみ。そろそろ登山道完成するはずであるが。次は安平路山。戸隠西岳は同行者が欲しい。足場の悪い山なので。